



KMT第55回理事会 2022（令和4）年2月28日（月）／パレア会議室3

# NPO法人熊本まちなみトラスト年次総会 2022

## 資料目次（議事対応）

1. 2021年度活動報告と決算・監査報告（第1号議案）・・・ P1
2. 2022年度活動計画と予算（第2号議案）・・・ P9
3. 役員選任に関する議決（第3号議案）・・・ P12

議事終了後〇意見交換

総会終了後 15:00～同会場で5月例会（交流イベント）

2022（令和4）年5月29日（日）13:30～14:30

@川尻公会堂（熊本市南区川尻4丁目8-25 / 096-357-9043）

★当日マスク着用をおねがいします。

★駐車場がありませんので公共交通機関をご利用ください（JR川尻駅から歩けます）

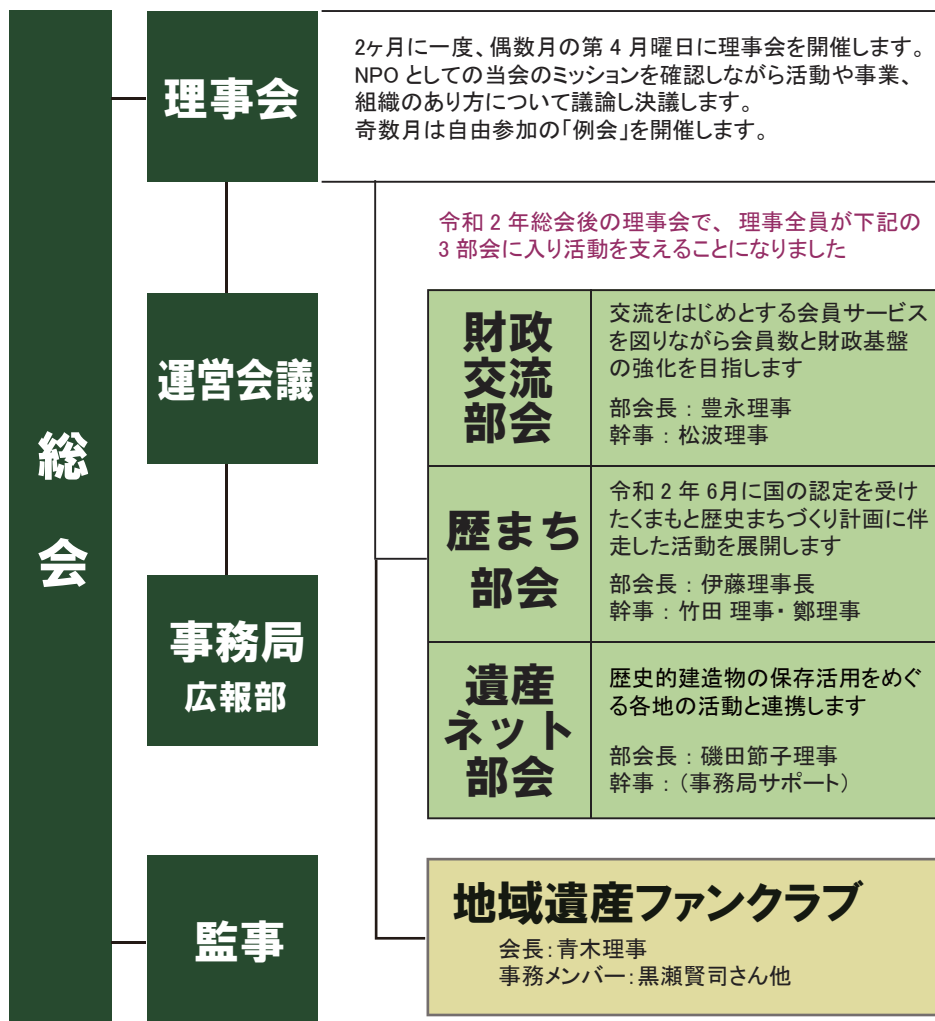
NPO法人熊本まちなみトラスト  
〒860-0078熊本市中央区京町1-8-24  
株式会社人間都市研究所 内



電話096-326-6611 FAX096-326-6612  
E-mail: info@kumamoto-machinami-trust.org  
HP: kumamoto-machinami-trust.org

表. 過去の総会振り返り

KMT総会	開催日	会場	総会イベント
設立総会	2017年3月26日(日) 14:00-16:00	PSオランジュリ	意見交換会
	活動 第1期		熊本地震復興事務所/WMFパートナーシップ
第1回総会	2018年5月19日(土) 13:30~14:40	PSオランジュリ	PS交流会「PSオランジュリのこれから」
	活動 第2期		熊本地震復旧支援
第2回総会	2019年5月18日(土) 13:30~14:40	カリーノ魚屋町ビル	歴史を活かしたまちづくりシンポジウム —旧住友銀行熊本支店社屋の復活劇—
	活動 第3期		熊本地震復旧支援
第3回総会	2020年5月25日(月) 18:30~19:00	県民交流館パレア 9階 会議室9	- (書面表決)
	活動 第4期		県南部豪雨災害2020年7月→復旧支援
第4回総会	2021年5月22日(土) 20:00~21:00	熊本まちなみトラスト 事務所(中央区京町)	- (書面表決)
	活動 第5期		県南部豪雨災害復旧支援補助事業完了
第5回総会	2022年5月21日(土) 13:30~14:30	川尻公会堂	15:00-17:00 川尻公会堂の震災復旧と利活用状況および歴史をいかしたまちづくりの報告の後 国史跡「外城蔵(川尻米蔵跡)」見学



運営会議：正副理事長、各部会長、広報部長、事務局長で原則毎月第3月曜日に開催  
事務局：NPO事務所に事務局長が常駐。  
毎週水曜日午前の事務局会議には広報部長も参加

図. NPO法人熊本まちなみトラスト 取組み体制

## 第1号議案 資料

### 2021年度の活動報告と決算報告

#### 1. 活動報告

2021(令和3)年度は、2017年5月のNPO設立から5年目の第5期事業年度に当たります。

2019年末にパンデミックが起きたコロナ感染の世界的な拡大は長期化し、2021年になっても第4波、第5波、2022年に入り第6波に見舞われて現在に至っています。

**【年次総会】** 2021年5月の年次総会は、総会予定日の直前に熊本県に「まん延防止等重点措置」が適用され、会場が使用不可能となったために書面表決に切り替えました。

**【理事会】** 理事会は、感染者数が減少した時に当たったために2ヶ月に一度、偶数月にすべてリアル会議で開催しました。

**【運営会議・事務局会議】** 運営会議はすべて ZOOM でのリモート開催、事務局会議は少人数ですのでリアル会議を続けました。

**【例会／歴まち部会】** 2021年度の活動方針を日常活動の充実に置き、奇数月の7月、11月、3月に会員外にも呼びかけた例会を開催しました。

**【遺産ネット部会】** 遺産ネット部会は、地域遺産ファンクラブの発足準備会として活動が続けられ、11月21日の発会(設立総会)として実を結びました。

**【財政交流部会】** 法人会員拡大への動きを起こしました。また、10月から1月までの4ヶ月間、事務局を熊日びぶれす会館コワーキングスタジオ(Bスタ)に置くという試行事業も行いました。

**【調査研究活動】** 吉田松花堂の建物実測調査および文化庁への報告書作成にKMTの6人の理事が調査委員会に加わって取り組みました。その他、熊本市京町の佐々木邸や神水本町の池上邸、玉名市・伊倉の池部邸、阿蘇・市ノ川の孤風院など登録文化財を目指した調査や所有者との相談会等を開催しました。

**【被災文化遺産の復旧支援活動】** 2020年南九州豪雨災害からの復旧支援の助成を受けていた日本財団の事業がコロナ禍特例で繰越が可能となったので2021年9月から10月にかけて球磨村一勝地の焼酎蔵へ人員派遣を行いました。

**【日本都市計画家協会主催の全国まちづくり会議熊本分科会】** その球磨村一勝地の焼酎蔵と平成28年熊本地震からの復旧工事を終えた熊本市西唐人町の清永本店を会場として、2011年東日本大震災から10年目のイベントの日に全国に向けてリモート配信しました(5月25日)。

#### 2. 決算報告

**【収入の部】** 個人正会員44人・賛助会員12人、法人正会員8人からの年会費合計が456,000円、17人(会員数と重複)からの寄付が161,000円、雑収入を合わせると2021年の総収入は631,934円となりました。助成金収入は今期はありませんでした。

**【支出の部】** 事業費893,378円、管理費607,765円の合計1,501,143円でした。

差し引き△869,209円の財産減であり、前期からの繰越金1,931,289円から同財産減を差し引いた(1,931,289－869,209＝)1,062,080円が2022年度への次期繰越金となります。

収入に対して、支出超過となっていますが、これには前年度からの繰越金1,931,289円の中に使い道の決まった前受金(703,200円)が含まれていたことが大きく影響しています(計算書類の注記参照)。

## 2021年度活動報告

イベント名	月日	場所	備考(主なテーマ等)
地域遺産ファンクラブ準備会	4月14日	文林堂地下ホール	
運営会議	4月19日	ZOOM	
<b>第50回理事会(総会直前理事会)</b>	4月26日	パレア会議室	総会議案書の承認 コロナ禍における書面表決
地域遺産ファンクラブ準備会	5月11日	文林堂地下ホール	
<b>年次総会2021</b>	5月22日	書面表決 (当初川尻での総会を企画したが急遽書面表決に切り替えた)	
全国まちづくり会議 熊本分科会	5月25日	清永本店/球磨村焼酎蔵	災害と復興まちづくりをテーマに 全国にZOOM配信
地域遺産ファンクラブ準備会	6月8日	文林堂地下ホール	
運営会議	6月21日	ZOOM	
<b>第51回理事会</b>	6月28日	くまにち倶楽部	Bスタでの事務局試行
地域遺産ファンクラブ準備会	7月13日	文林堂地下ホール	
<b>7月例会</b>	7月26日	パレア会議室	「熊本県文化財大綱」学習会
地域遺産ファンクラブ準備会	8月3日	わさもんキッチン	
運営会議	8月16日	ZOOM	
<b>第52回理事会</b>	8月23日	パレア会議室	
地域遺産ファンクラブ準備会	8月31日	わさもんキッチン	
球磨村焼酎蔵に復旧支援派遣開始	9月15日	一勝地・湊田酒造本店	10月20日まで(日本財団支援)
Bスタでの事務局試行事業スタート	9月21日	熊日びふれす会館コワーキングスタジオに事務局仮移転 (10月-1月まで試行事業継続)	
地域遺産ファンクラブ まち歩きで発足	10月24日	新町・兵庫屋本店外	Prom01
<b>第52回理事会</b>	10月25日	Bスタ会議室	
広報誌第4号 NewsLetter発送	10月31日	全会員に発送	県民文化賞受賞3/22等の記事 ファンクラブ発会式の案内も
地域遺産ファンクラブ発会式(設立総会)	11月21日	カリーノMSビル	
大学生のまちなか発表会支援	11月20日	Bスタ(びふれすイノベーションスタジオ)	崇城大・古賀元也先生+学生+ 県大・鄭先生
<b>11月例会</b>	11月22日	パレア会議室	「熊本市『郷土文化財』」学習会
運営会議	12月20日	ZOOM	
3大学合同ゼミ支援	12月23日	現代美術館会議室	崇城大・古賀研究室/県大・鄭 研究室/学園大・市原研究室
広報誌第5号 NewsLetter発送	12月24日	全会員に発送	伊藤理事長インドでの活動記/ 2021年回顧記事等
<b>第54回理事会/懇親会</b>	12月25日	神水・池上邸	オーナーとの懇親
運営会議	2月21日	ZOOM	
<b>第55回理事会</b>	2月28日	パレア会議室	各部会報告と議決等
<b>3月例会</b>	3月28日	パレア会議室	「洋画家田代順七が描いた昭和 の熊本」
運営会議	4月4/18日	ZOOM	
<b>第56回理事会</b>	4月25日	パレア会議室	総会直前理事会
<b>年次総会2022</b>	5月21日	川尻公会堂での総会+5月例会(予定)	

- 総括
- 1) 人吉球磨豪雨災害復旧支援(コロナ禍特例で前年度からの繰越/日本財団助成事業)
  - 2) 地域遺産ファンクラブの発会(11月)
  - 3) 『例会』の開催(7月、11月、3月)
  - 4) 神水・池上邸オーナーとの懇親会の開催(12月)
  - 5) 文化財指定を目指した吉田松花堂現況調査報告書の作成(3月)
  - 6) Bスタ(びふれすイノベーションスタジオ)での事務局試行(10月-1月)



## 第5期 活動計算書

2021年 4月 1日 ～ 2022年 3月 31日 まで

(単位:円)

科 目	金 額		
<b>I 経常収益</b>			
<b>1. 受取会費</b>			
正会員受取会費	420,000		
賛助会員受取会費	36,000	456,000	
<b>2. 受取寄付金</b>			
受取寄付金	161,000	161,000	
<b>3. 受取助成金等</b>			
受取民間助成金	0	0	
<b>4. 事業収益</b>			
A事業収益(歴椎文化遺産の顕彰事業)	0		
B事業収益(保存活用推進事業)	0		
C事業収益(広報出版事業)	0		
雑収入	14,920	14,920	
<b>5. その他収益</b>			
受取利息	14	14	
<b>経常収益計</b>			631,934
<b>II 経常費用</b>			
<b>1. 事業費</b>			
<b>(1) 人件費</b>			
給料手当	0		
臨時雇い賃金	0		
法定福利費	0		
<b>人件費計</b>	0		
<b>(2) その他経費</b>			
会場費	11,680		
諸謝金	3,000		
旅費交通費	26,570		
消耗品費	110		
通信運搬費	22,620		
外注費	819,398		
アルバイト料	10,000		
研修費			
<b>その他経費計</b>	893,378		
<b>事業費計</b>		893,378	
<b>2. 管理費</b>			
<b>(1) 人件費</b>			
給料手当	0		
役員報酬	0		
法定福利費	0		
<b>人件費計</b>	0		
<b>(2) その他経費</b>			
会場費	31,070		
印刷製本費	117,700		
諸会費	29,330		
諸謝金	2,160		
消耗品費	9,604		
地代家賃	182,600		
通信運搬費	24,289		
租税公課	2,850		
支払手数料	13,857		
機材費	1,340		
復興支援金(寄附金)	10,000		
備品費	182,965		
<b>その他の経費計</b>	607,765		
<b>管理費計</b>		607,765	
<b>経常費用計</b>			1,501,143
<b>当期正味財産増減額</b>			△ 869,209
<b>前期繰越正味財産額</b>			1,931,289
<b>次期繰越正味財産額</b>			1,062,080

法人名: NPO法人 熊本まちなみトラスト

## 貸借対照表

2022年 3月 31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	1,062,080		
流動資産合計		1,062,080	
2. 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			1,062,080
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	0		
借入金注1	0		
流動負債合計		0	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
<b>III 正味財産の部</b>			
前期繰越正味財産		1,931,289	
当期正味財産増減額		△ 869,209	
正味財産合計			1,062,080
負債及び正味財産合計			1,062,080

法人名: NPO法人 熊本まちなみトラスト

## 財産目録

2022年 3月 31日現在

(単位:円)

科 目・摘 要	金 額		
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金			
現金	0		
郵便貯金(17160 37095371)	2		
振替口座(01700-7-168984)	1,000		
肥後銀行(京町支店 1586728)	1,061,073		
肥後銀行(京町支店 1588248)	5		
流動資産合計		1,062,080	
2. 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			1,062,080
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	0		
借入金	0		
流動負債合計		0	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
正味財産			1,062,080

## 計算書類の注記(第5期)

### 1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定額法で償却をしています。

(2) 施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理

1) 京町事務局スペースの運営は、水道光熱費・電話・コピー機使用等を一括して月5万円の家賃として支払う

予定だったが、「全体事業費が単年度赤字を出さない限り」という条件付であったため、今期の家賃支払は無しとした。コピー機使用料については、原価で前年度と今年度の2ヵ年分を支払った。

2) 中央区新町2丁目の文林堂様には地下のホールを2021年7月まで地域遺産ファンクラブ準備会のための会議室として無償で提供していただいた。

(3) ボランティアによる役務の提供

私たちの活動は会員のボランティアで成り立っています。今期は詳細の注記はしておりません。

基本的に「活動を実施する上で経費は負担するが、その労力は無料」との考えで運営しています。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

### 2. 事業費の内訳

事業費の区分は以下の通りです。

(単位:円)

科 目	A事業費 (顕彰事業)	B事業費 (保存活動 事業)	C事業費 (広報・出版 事業)	D事業費	E事業費	事業費計
<b>(1) 人件費</b>						
給料手当	0	0	0	0	0	0
臨時雇賃金	0	0	0	0	0	0
法定福利費	0	0	0	0	0	0
<b>人件費計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>(2) その他経費</b>						
会議費	11,680					11,680
諸謝金	3,000					3,000
消耗品費	110					110
通信運搬費	22,620					22,620
旅費交通費	950	25,620				26,570
外注費	43,698	693,200	82,500			819,398
アルバイト料		10,000				10,000
						0
						0
						0
						0
<b>その他経費計</b>	<b>82,058</b>	<b>728,820</b>	<b>82,500</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>893,378</b>
<b>合 計</b>	<b>82,058</b>	<b>728,820</b>	<b>82,500</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>893,378</b>

### 3. 固定資産の増減内訳

固定資産はありません。

### 4. 借入金が増減内訳

借入金はありません。

**A. 顕彰事業**

例会案内郵送費、会場費等

**B. 保存活用推進**

外注費は前年度日本財団支援金、J-Coin支援金の未消化分

**C. 広報出版**

HP管理費 82,500

### 5. 使途等が制約された寄付等の内訳

使途等が制約された寄付等の内訳は以下の通りです。

(単位:円)

内 容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備 考
1 日本財団助成金	418,200		418,200	0	事業期間延長
2 J-Coin助成金	275,000		275,000	0	事業期間延長
3 清永本店復興基金	10,000		10,000	0	繰越分
<b>合 計</b>	<b>703,200</b>	<b>0</b>	<b>703,200</b>	<b>0</b>	



## 2021年度（第5期）事業予算案と実績

### 【収入の部】

項目	予算	実績
受取会費	1,230,000	456,000
正会員	250,000	220,000
賛助会員	50,000	36,000
法人会員	900,000	200,000
地域遺産ファンクラブ	30,000	0
受取寄付金		161,000
助成金		
(未確定)	0	
小計	1,230,000	617,000
雑収入	0	14,934
収入合計	1,230,000	631,934
前期繰越金		
負債(借入金)		
前期残余金	1,931,289	1,931,289
今期期末繰越金	1,681,289	1,062,080

### 【支出の部】

定款の事業名	2021(令和3)年度事業	予算	実績
定款第5条(1)特定非営利活動に係る事業(事業費)		780,000	893,378
①歴史文化遺産の顕彰事業		200,000	192,058
①-1地域間連携事業			
講師旅費交通費・謝金		100,000	
①-2アーカイブの作成等			
資料作成、印刷費等		100,000	
②歴史文化遺産の保存・活用を促進するための事業		200,000	618,820
②-1人吉・球磨地域災害復旧支援事業			
交通費等		100,000	
②-2歴史を活かしたまちづくり支援			
資料代		50,000	
②-3(仮称)その他の地域			
資料代、交通費		50,000	
②-4			
資料代、交通費		0	
②-5			
資料代、交通費		0	
③歴史文化遺産の顕彰・保存・活用に関する広報・出版事業		250,000	82,500
③-1HP、fb、twの運営		100,000	
一般管理費に含む			
③-2広報誌の発行			
編集印刷製本費		150,000	
③-3(旧)被連協を中心に新町古町の復興アーカイブの作成			
調査費、会議費、コピー代		0	
③-4ドローンを使った画像記録の制作			
		0	
③-5他都市の交流会等への参加			
		0	
④歴史文化遺産を活用した不動産事業			
2021年度は無し			
⑤歴史文化遺産活用のための物品販売・サービス事業			
2021年度は無し			
⑥その他当法人の目的を達成するために必要な事業		130,000	0
地域遺産ファンクラブ会費+当会からの支援 内で運営		130,000	0
一般管理費		700,000	607,765
1)Bスタ使用料			
水光熱費通信費等含む		500,000	
2)事務局人件費			
前年:366,000		0	0
3)消耗品費等			
前年:約130,000		200,000	
支出計		1,480,000	1,501,143

# 監事監査報告書

令和4年5月6日

NPO法人熊本まちなみトラスト

理事長 伊藤重剛 様

監事 荒木幸介



監事 斉藤 修



私たち監事は、特定非営利活動促進法18条の規定に基づき、NPO法人熊本まちなみトラストの第4期（令和3年4月1日～令和4年3月31日）の業務監査及び会計監査を実施し、次のとおり報告いたします。

## 1 監査の方法の概要

- (1) 業務監査について、月次の報告書を確認し、また理事から業務の報告を聴取し関係書類の閲覧等必要と思われる監査手続きを用いて業務執行の妥当性を検討した。
- (2) 会計監査について帳簿ならびに関係書類の閲覧等必要と思われる監査手続きを用いて計算書類の正確性を検討した。

## 2 監査意見

- (1) 事業報告書の内容は真実であると認める。
- (2) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認める。
- (3) 活動(収支)計算書、貸借対照表、財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支状況及び財産状態を正しく示しているものと認める。

以上

## 第2号議案 資料

### 2022年度の活動計画と予算案

本年度は、1997(平成9)年4月の創立から25年という節目の年です。コロナ感染は未だ先が見えない状況で、KMTの活動は直接間接に影響を受けることが予想されます。

また、2017年5月のNPO設立から6年目を迎え、歴史的建造物の災害復旧に取り組んだ時期から、それらの歴史的建造物の顕彰と活用への移行時期にあると考えられます。

折りしも熊本市は2020(令和2)年6月にくまもと歴史まちづくり計画(熊本市歴史的風致維持向上計画)の認定を受け、同計画に基づいて重点地区を中心とする諸事業をスタートさせ、熊本まちなみトラストは地元3団体と共に支援法人に指定されることになりました。

そのような情勢を踏まえて2022(令和4)年度の活動方針を以下のように提案します。

#### 1. 長期ビジョンとミッションを描く

周年事業を通してKMT創立からの長期的な活動を振り返り、その足跡を後世に伝えると共に今後の活動の長期ビジョンとミッションを描く。

#### 2. 地方自治体との連携

熊本県、熊本市をはじめとする地方自治体との連携を強め、共同での取組を模索する。

#### 3. 地域遺産の顕彰と登録(調査研究・顕彰活動)

県内の地域遺産のリストを作成し、県内各地の志を同じくする個人や団体との連携を深め地域遺産の登録を促進する。

#### 4. 歴史まちづくり活動

地域遺産の所有者からの相談に応じ、活用策を共に考え、協力者・担い手を探しマッチングを進める。  
また、そのためのエリアマネジメント計画を立案し提案する。

#### 5. 会員、理解者、支援者の拡大(広報・出版活動)

上記の活動を通してシンポジウムや見学会への参加者を増やし、多くの県市民と歴史を活かしたまちづくりの大切さと楽しさを共有する。

以上の活動方針を具体的な活動として事業化を図るために2022年度予算を提案します。

前2021年度は、事業に取り組むための補助金の申請を敢えて行わず内向きの事業展開でしたが、2022年度は、上記の活動方針を具体化するための補助金の導入を積極的に図ります。

#### 【収入の部】

会費と寄付金収入を前年度から3割増の800,000円とし、補助金を最低1,000,000円は確保することを目標に単年度収入を1,800,000円とします。

#### 【支出の部】

前期繰越金は1,062,080円ありますがこれは補助金が入らなかった時の貯金としてとっておき、支出総額が収入と同額の1,800,000円になるように事業予算を配分します。補助金申請に適った事業、これを25周年記念事業として重点配分し、残りをその他の事業に配分します。管理費は前年度とほぼ同額とします。

## 2022年度活動計画

下記のスケジュールはアウトラインであり、実行委員会や部会の活動計画によって変更が起ります。

イベント名	月日	場所	備考(主なテーマ等)
	2022年		
運営会議	4月4日	ZOOM	
運営会議	4月18日	ZOOM	
<b>第56回理事会</b>	4月25日	パレオ会議室	総会直前理事会
<b>年次総会2022</b>	5月22日	川尻公会堂での総会+5月例会(予定)	
	5月		(地域遺産ファンクラブ街歩き)
運営会議	6月20日	ZOOM	
<b>第57回理事</b>	6月27日		
運営会議	7月18日	ZOOM	
<b>7月例会</b>	7月23日	第4土曜日	25周年記念事業実行委員会による企画 その1
運営会議	8月15日	ZOOM	
<b>第58回理事会</b>	8月22日		
運営会議	9月19日	ZOOM	
<b>9月例会</b>	9月24日	第4土曜日	25周年記念事業実行委員会による企画 その2
運営会議	10月17日	ZOOM	
<b>第59回理事会</b>	10月24日		
運営会議	11月7日	ZOOM	
<b>11月例会『25周年記念事業』</b>	11月26日	第4土曜日	25周年記念事業実行委員会による企画 その3
運営会議	12月19日	ZOOM	
<b>第60回理事会</b>	12月26日		
	2023年		
運営会議	1月16日	ZOOM	
<b>1月例会</b>	1月28日	第4土曜日	25周年記念事業実行委員会による企画 その4
運営会議	2月20日	ZOOM	
<b>第61回理事会</b>	2月27日		
運営会議	3月20日	ZOOM	
<b>3月例会</b>	3月25日	第4土曜日	25周年記念事業実行委員会による企画 その5
運営会議	4月17日	ZOOM	
<b>第62回理事会</b>	4月24日		総会直前理事会
<b>年次総会2024</b>	5月		

### ▽概括

- 1) 地域遺産のリスト化と登録促進 見学会等の開催も
- 2) 25周年記念事業 実行委員会による企画
- 3) 例会の戦略的開催

7月、9月→11月記念事業へ向けて /25周年事業を振り返り次年度へ 1月、2月

- 4) 地域遺産ファンクラブの活動支援
- 5) 関連団体とのネットワーク構築(遺産ネット部会)
- 6) 会員、理解者、支援者の拡大

## 2022年度（第6期）事業予算案

### 【収入の部】

項目	2022予算	2021実績
受取会費	810,000	456,000
正会員	250,000	220,000
賛助会員	60,000	36,000
法人会員	500,000	200,000
受取寄付金	0	161,000
以上小計	810,000	617,000
雑収入		
	0	14,934
助成金		
(未確定)	1,000,000	0
努力目標		
収入合計	1,810,000	631,934
前期繰越金		
負債(借入金)		
前期残余金 ②	1,062,080	1,931,289
当期正味財産増減額	10,000	△ 1,501,143
今期期末繰越金	1,072,080	1,062,080

### 【支出の部】

定款の事業名	2022(令和4)年度事業	2022予算	2021実績
1. 事業費(定款第5条(1)特定非営利活動に係る事業)		1,200,000	893,378
①歴史文化遺産の顕彰事業		400,000	192,058
①-1 地域遺産リストの作成			
講師旅費交通費・謝金		50,000	
①-2 シンポジウム等(25周年)			
講演者謝金、会場費、印刷費等		300,000	
①-3 アーカイブの作成等(25周年)			
資料作成、印刷費等		50,000	
②歴史文化遺産の保存・活用を促進するための事業		300,000	618,820
②-1 歴史を活かしたまちづくり支援			
資料代/交通費/諸経費		100,000	
②-2 県内各地の連携活動			
資料代/交通費/諸経費		100,000	
②-3 (緊急出動 タスクフォース)			
資料代、交通費		100,000	
③歴史文化遺産の顕彰等に関する広報・出版事業		400,000	82,500
③-1 HP、fb、twの運営		100,000	
一般管理費に含む			
③-2 広報誌の発行			
編集印刷製本費		50,000	
③-3 25周年記念事業誌			
調査費、会議費、コピー代		150,000	
③-4 画像記録の制作			
外注費		100,000	
③-5 他都市の交流会等への参加			
④歴史文化遺産を活用した不動産事業		0	0
2022年度は無し			
⑤歴史文化遺産活用のための物品販売・サービス事業		0	0
2022年度は無し			
⑥その他当法人の目的を達成するために必要な事業		100,000	0
地域遺産ファンクラブ会費+当会からの支援 内で運営			
2. 管理費		600,000	607,765
1) 通信費、印刷製本費			
		200,000	
2) 会場費、諸会費等			
		100,000	0
3) 機材費、消耗品費			
		300,000	
計		1,800,000	1,501,143

## 第3号議案 資料

### 役員を選任

※定款の中の役員に関する規定を抜書きします。

(種別及び定数)

第12条 この法人に次の役員を置く。

(1) 理事 10人以上30人以下

(2) 監事 2人

2 理事のうち、1人を理事長、2人を副理事長とする。

(選任等)

第13条 理事及び監事は、総会において選任する。

2 理事長は、理事の互選とする。

3 副理事長は、理事長が任命する。

(任期等)

第15条 役員任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

#### 【前期役員留任の提案】

役員改選に当たり、前期までの理事の方には留任のお願いをいたしました。一部の理事の方からは「適任の理事候補の方を紹介するので退任したい」というお申出がありました。

理事会での議論では、現在の理事の方は各方面の専門家が集まっておられ、毎回の理事会には出席されなくともいざという時には活躍していただくことが期待される、との確認。そこで理事退任後の役職を設けて、その体制を整えるべき、「顧問」は通俗的過ぎるし、時間をかけて定款変更案をつくり来年の総会で議決しよう、ということになりました。それが決まるまでの間現役員の方は今しばらく留任をお願いいたします。

#### 【新規理事選任の提案】

複数の理事からの推薦があり4月25日第56回理事会で承認されました市原猛志氏の総会での選任決議をお諮りします。

氏は昨年度、熊本学園大学の講師に着任された産業遺産の専門家です。熊本まちなみトラストとは、2007年九州伝承遺産ネットワークシンポジウム in 熊本以来のおつきあい。北九州市をホームクラウンドとして活動されています。

次ページ 2022-2023 年度 役員一覧 の承認議決をお諮りします。

2022-2023 年度役員

役職名	氏名	プロフィール
理事 留任	あおき かつし 青木 勝士	熊本県職員／専門は日本中世史／熊本地震後は熊本被災史料レスキューネットワーク事務局
理事 留任	あそだ よしひさ 麻生田 栄壽	不動産鑑定士／元熊本県不動産鑑定士協会会長／当団体保存プロジェクトを不動産運用面から支える
理事 新任	いち はら たけし 市原 猛志	熊本学園大学商学部ホスピタリティ・マネジメント学科講師／専門は産業技術史／博士(工学)
理事 留任	いとう じゅうこう 伊藤 重剛	熊本大学名誉教授／専門は西洋建築史／「甲斐青萍熊本町並み図集」編者／工学博士
理事 留任	いそだ けいじ 磯田 桂史	熊本大学五高記念館客員教授／「明治期熊本の洋風建築史」著／工学博士
理事 留任	いそだ せつこ 磯田 節子	熊本高専特命客員教授／専門は都市計画・建築計画／博士(学術)／
理事 留任	おか ゆうじ 岡 裕二	舩(もらい)ワークス主宰／専門は地理学／まちづくりコンサルタントとして各地の調査・計画に参画／
理事 留任	くどう えいいちろう 工藤 栄一郎	西南学院大学商学部教授／専門は会計学・会計史／新町古町で現代の町屋に暮す
理事 留任	こうだ りょういち 幸田 亮一	熊本学園大学商学部教授／専門は経営史／同大学前学長／共編著「熊本の近代化遺産」出版に尽力
理事 留任	こが あきら 古賀 輝	財務省九州財務局国有財産管理官／熊本市内の国有財産を古い建物を残しながら処分することに尽力
理事 留任	さいごう まさひろ 西郷 正浩	崇城大学工学部教授／専門は建築設計・計画／旧JR上熊本駅舎の保存に尽力／博士(美術)
理事 留任	しばた ゆう 柴田 祐	熊本県立大学環境共生学部教授／専門は農村計画・景観計画／博士(工学)
理事 留任	たけだ あつし 竹田 宏司	玉名市立歴史博物館館長／専門は考古学／熊本地震後新町古町復興プロジェクトに参画
理事 留任	たなか なおと 田中 尚人	熊本大学政策創造研究教育センター准教授／土木史・景観論／熊本地震後益城町・山都町等で活動
理事 留任	ちよん いるじ 鄭 一止	熊本県立大学環境共生学部准教授／専門は都市計画・まちづくり／まちなか活性化で活動／博士(工学)
理事 留任	つじ やすあき 辻 泰明	熊本あゆみ研究所主宰／熊本大学環境システム工学科大学院修士修了／専門は土木史
理事 留任	とよなが のぶひろ 豊永 信博	㈱南栄開発勤務／地震後県内各地で調査・活動／日本建築士会連合会景観まちづくり部会長
理事 留任	ながの せいじ 長野 聖二	㈱長野聖二建築設計處代表／アートポリス推進賞等受賞多数／地震後新町古町復興プロジェクトに参画
理事 留任	にしじま まりこ 西島 真理子	一級建築士／ヘリテージマネージャー／熊本城復元、八千代座保存工事に従事
理事 留任	ふじかわ かずひろ 富士川 一裕	都市計画家／㈱人間都市研究所代表／2011年高山英華賞受賞／2019年荒木精之賞(県文化協会)受賞
理事 留任	まつなみ たいじん 松波 大仁	現役時代は企業の経営企画・営業部門で英国等海外勤務／業務システム設計・改革を経験／川尻在住
理事 留任	みに たかあき 三國 隆昌	熊本日日新聞社勤務／「古地図で歩く城下町くまもと」の記事が人気を博す
理事 留任	みやの けいすけ 宮野 桂輔	㈱新古今社主宰／熊本地震で小沢町の事務所と住まいが激しく被災／新町古町復興プロジェクトに参画
理事 留任	やの かずゆき 矢野 和之	日本イコモス国内委員会事務局長／㈱文化財保存計画協会代表／文化財建造物修理主任技術者上級
理事 留任	やまだ みのる 山田 穰	元東海大学准教授／専門は都市計画・造形デザイン／元熊本まちづくり協議会企画委員長
監事 留任	さいとう おさむ 齊藤 修	弁護士／事務所は草葉町／任意団体設立当初から当団体を支援
監事 留任	あらかし こうすけ 荒木 幸介	公認会計士／事務所は新屋敷／任意団体設立当初から当団体を支援

# 地域遺産ファンクラブ「まちなみファンミーティング」について

## 2021.10. 24 発会(発会式 2021.11. 21)

### 1 経緯

NPO 法人熊本まちなみトラストは 2016 (平成 28) 熊本地震で被災した文化遺産所有者の相互支援組織「被災文化遺産所有者等連絡協議会 (略称・被連協)」を支援し、2020 年 3 月の清永本店の復旧工事の完了をみて 2021 年 3 月に解散を決定し、8 月に解散しました。この過程で会員から「発展的解散」が望まれたため、2020 年 8 月 9 日からトラスト「遺産ネット部会」が新しい組織を設立する検討を始め、11 月 5 日にトラスト外の学生及び市民を交えて地域遺産ファンクラブの準備会を設けました。参加の準備会員は時間の経過を追うごとに増え、会員で議論を重ねた末、2021 年 10 月 24 日 11 時 20 分に新町・長崎次郎書店前で発会しました。元被連協会員をはじめとする文化遺産所有者の皆様には 11 月 21 日にカーノビル魚屋町で発会式を行いお披露目しました。

### 2 設立の目的

地域遺産ファンクラブは地域の歴史遺産を顕彰し、次世代に継承することを活動の大きな目的としました。そのため地域遺産のファンを増やすとともに次世代に継承し、未来への希望をはぐくむ会を目指していきます。

### 3 組織の方向性

地域遺産の所有者と一般の地域遺産を愛する人たちの集まり「地域遺産ファンクラブ」を目指していきます。

### 4 活動の方針

地域の遺産を「見つける・楽しむ・広める」活動を会員と一緒にを行います。

地域遺産の所有者と一般会員の交流を通じて連携を強め、所有者のニーズに応じて地域遺産にまつわる課題を一緒に考え、解決を目指します。

地域遺産の見学会、まち歩き、シンポジウムなどを企画し、地域遺産との触れ合いを楽しみます。所有者の皆様のご協力もお願いしながら、楽しい企画を実現していきます。

### 5 会計

年度会費は千円/人で、トラストの会計から分離します。会計と庶務等は会の事務係が担います。予算及び支出は年度ごとの会計は監査が確認の上、会員に報告します。

※NPO 法人熊本まちなみトラストの会員のうちファンクラブ入会希望者はトラストの会費支払えばファンクラブ会員になれます。

入会申込書を直接または郵送、ファクス、メールでNPO 法人熊本まちなみトラストにご提出ください。

(会長：青木勝士理事、事務メンバー：鄭一止、三國隆昌、古賀輝 各理事)